

### 3)淀川流域の概要について

平成 12年 7月 26日

近畿地方建設局

# 淀川流域の概要

1. 流域図
2. 流域面積、河川延長
3. 流域の土地利用、人口の推移
4. 想定氾濫区域内の人口、資産
5. 流域の気象 (気温、降水量)
6. 各河川の流況
7. 水質の経年変化
8. 流域の主な景観、環境
9. 流域に生息する主な生物
10. 近年の大出水
11. 過去の災害状況
12. 近年の渇水
13. 河川の利用

凡例

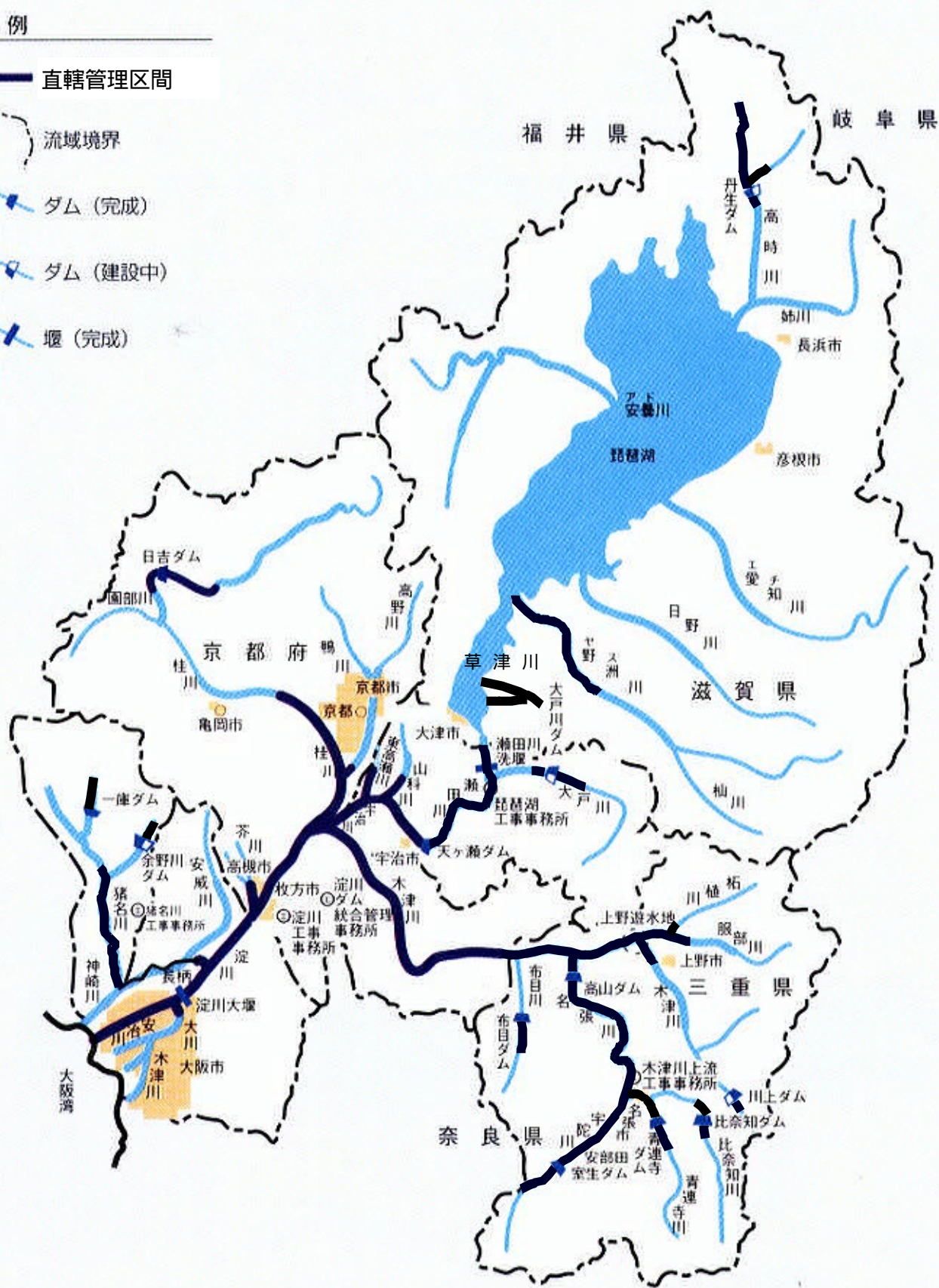
— 直轄管理区間

- - - 流域境界

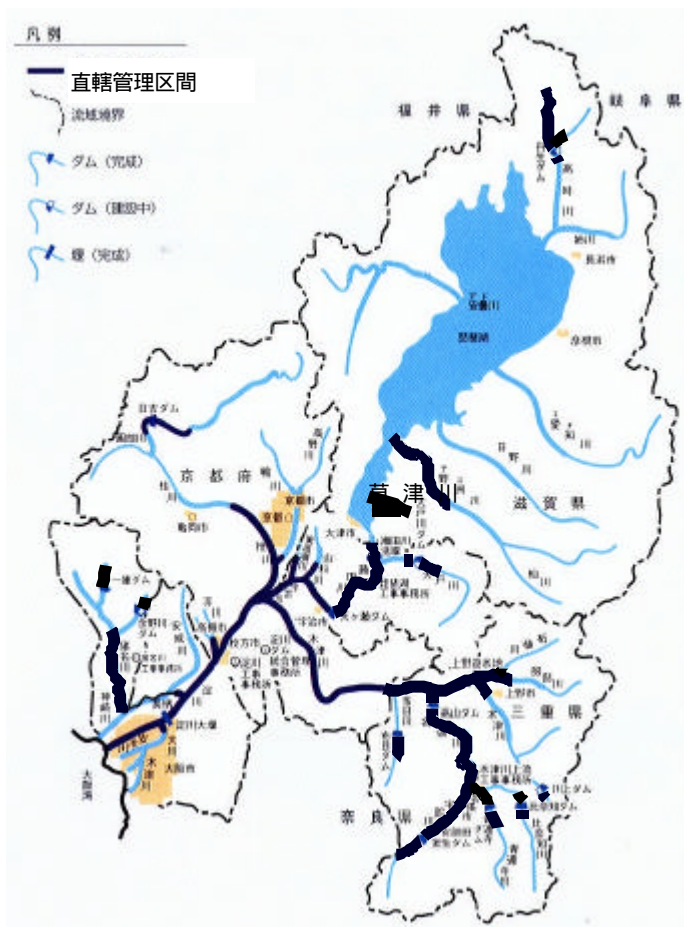
■ ダム (完成)

■ ダム (建設中)

■ 堰 (完成)



# 流域の概要



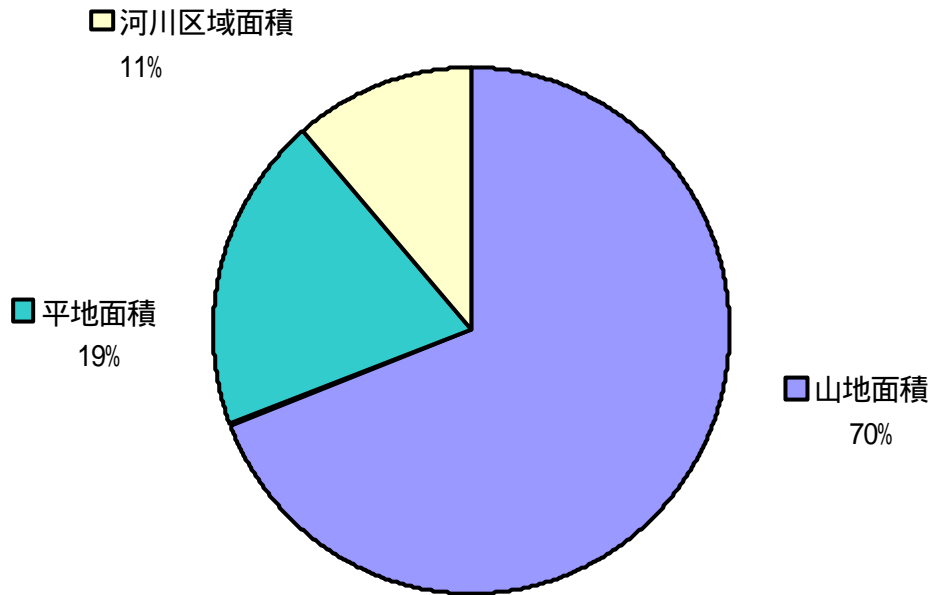
## 流域面積一覧表

河川名	流域面積 (k m <sup>2</sup> )
琵琶湖	3,848
宇治川	506
桂川	1,100
木津川	1,596
淀川下流	807
猪名川	383
淀川水系	8,240

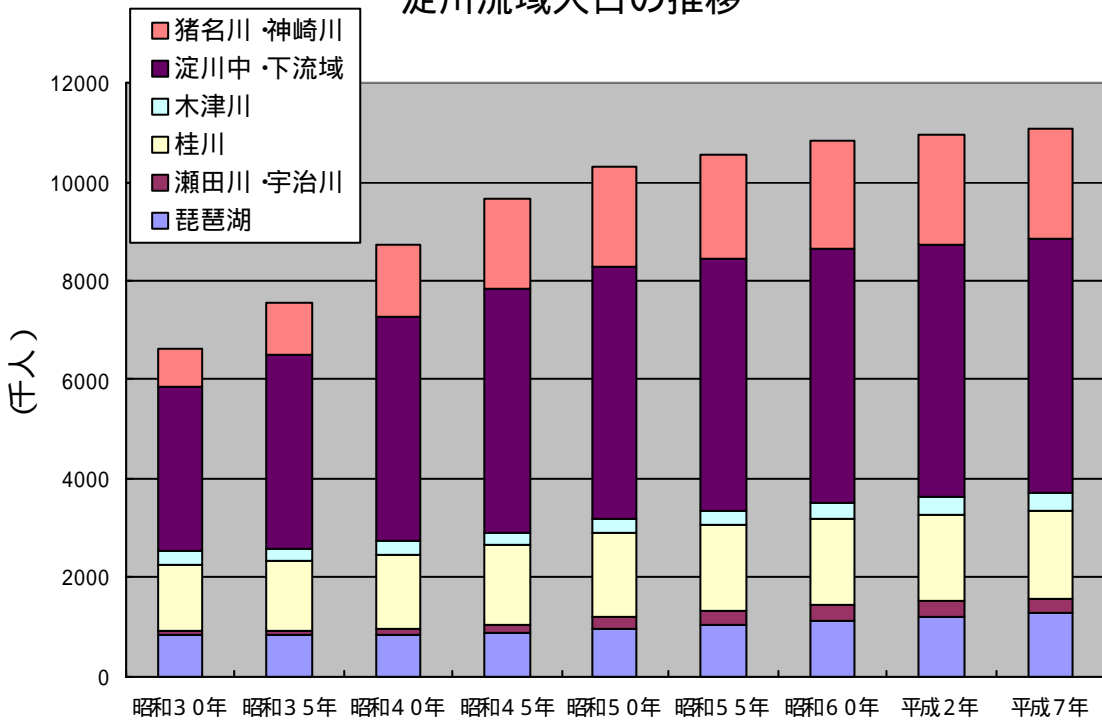
## 淀川水系の河川

河川数	幹線流路 延長 (km)	河川延長 (km)		
		指定区間	指定区間外	計
963	75	4,131.3	382.5	4,513.8

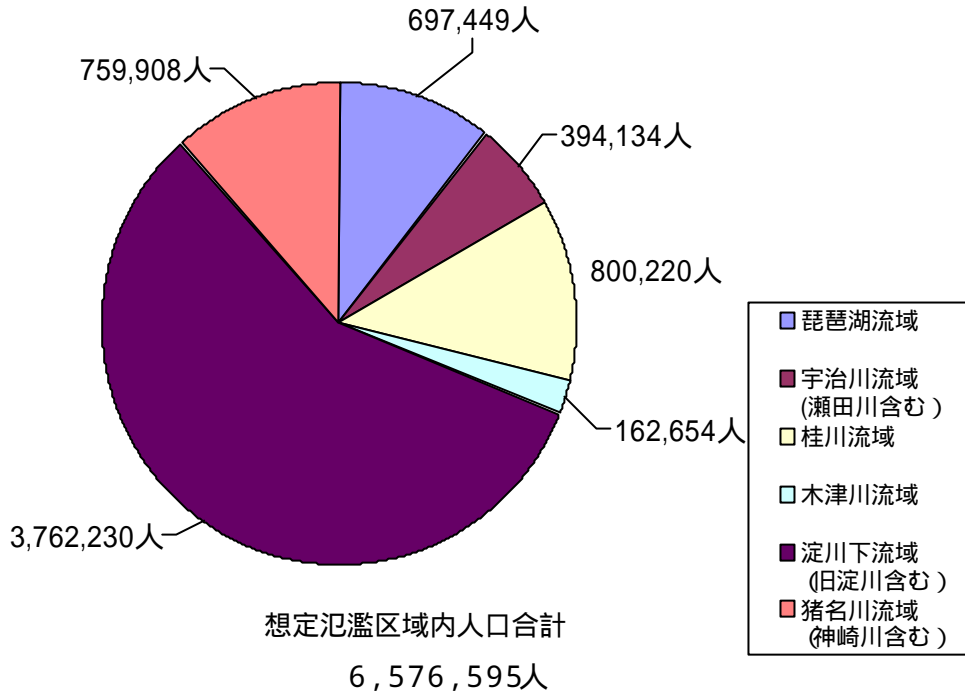
# 土地利用面積(全体)



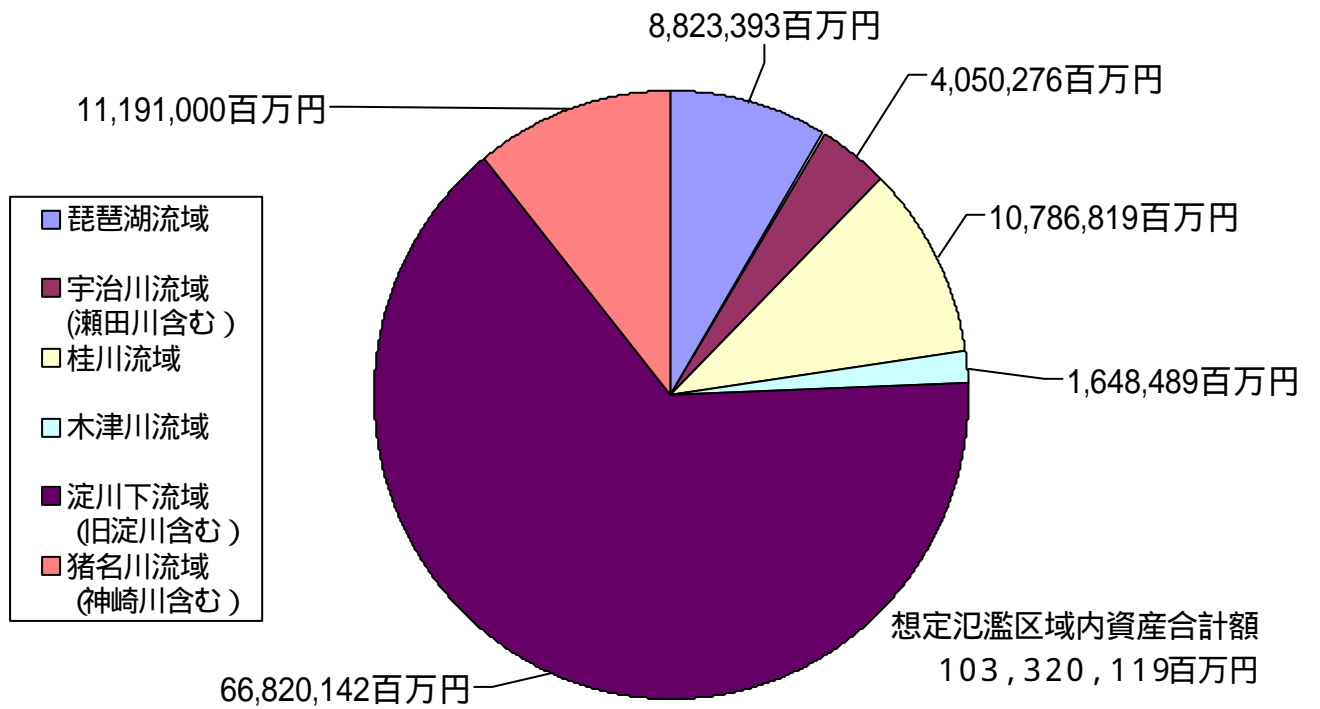
# 淀川流域人口の推移

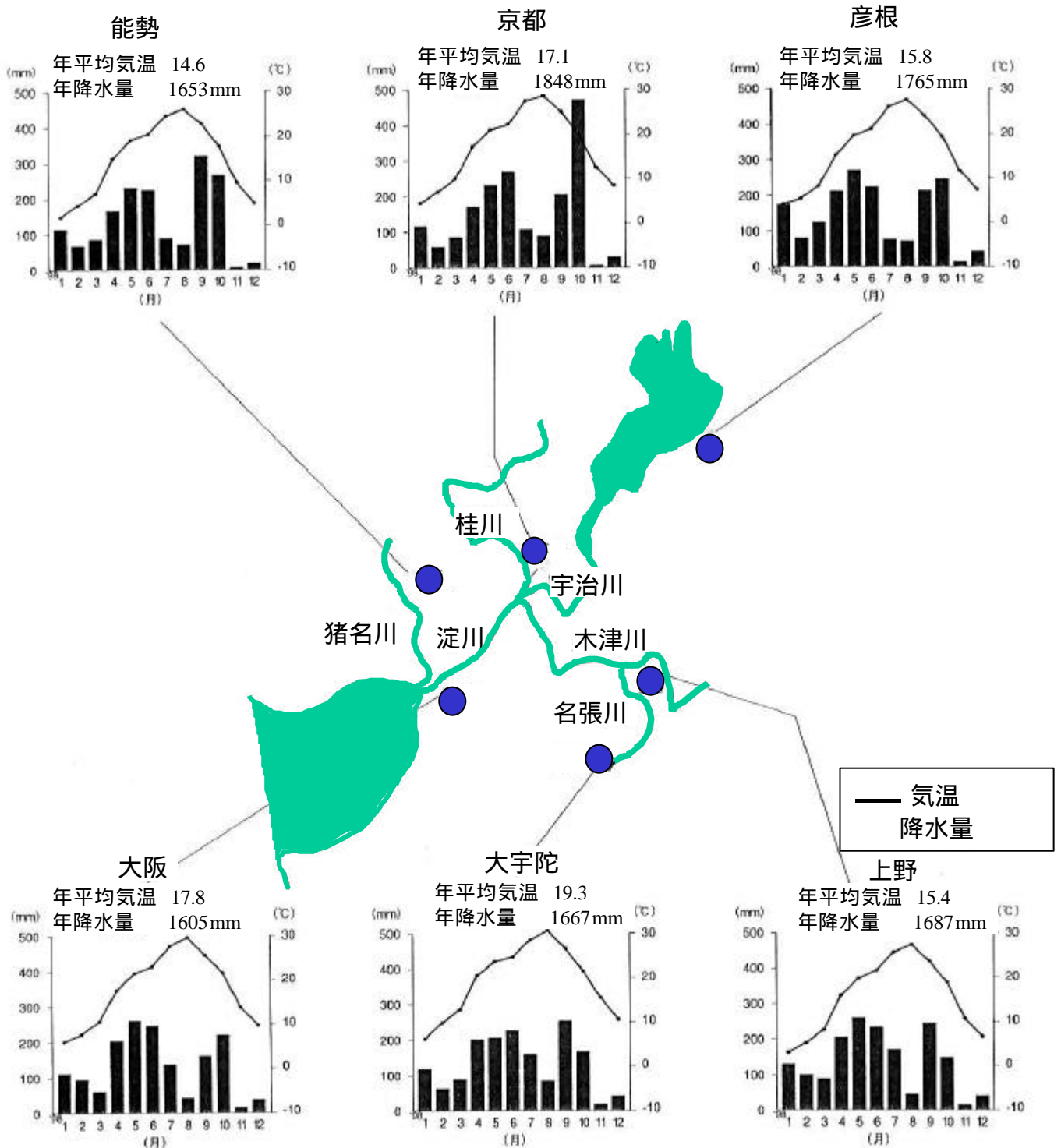


### 想定氾濫区域内人口



### 想定氾濫区域内資産



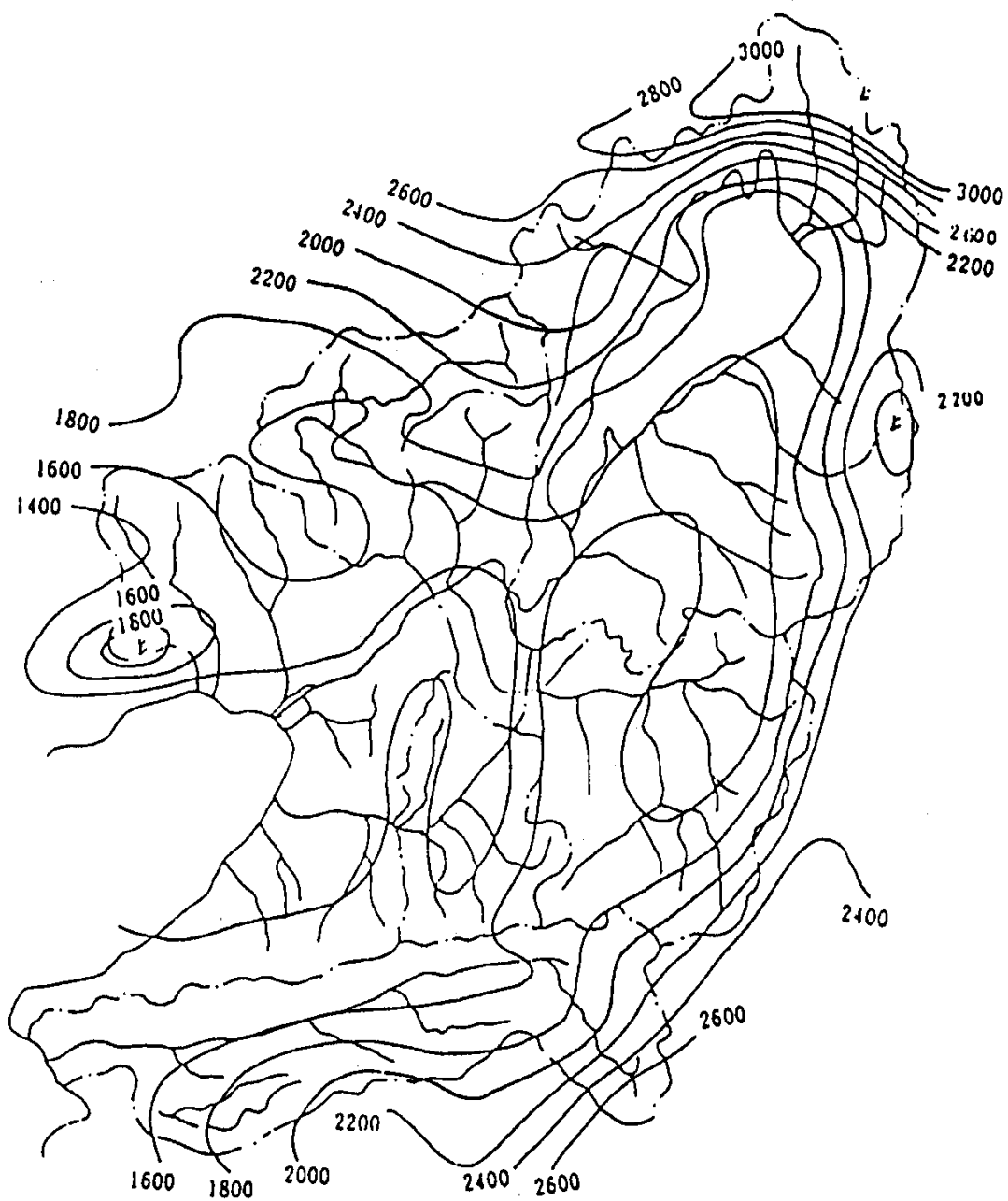


【図2-7 代表地点の気温および降水量（平成10年）】

（財）日本気象協会「平成10年地域気象観測資料」より作成

## 流域の気象（気温、降水量）

# 流域の気象

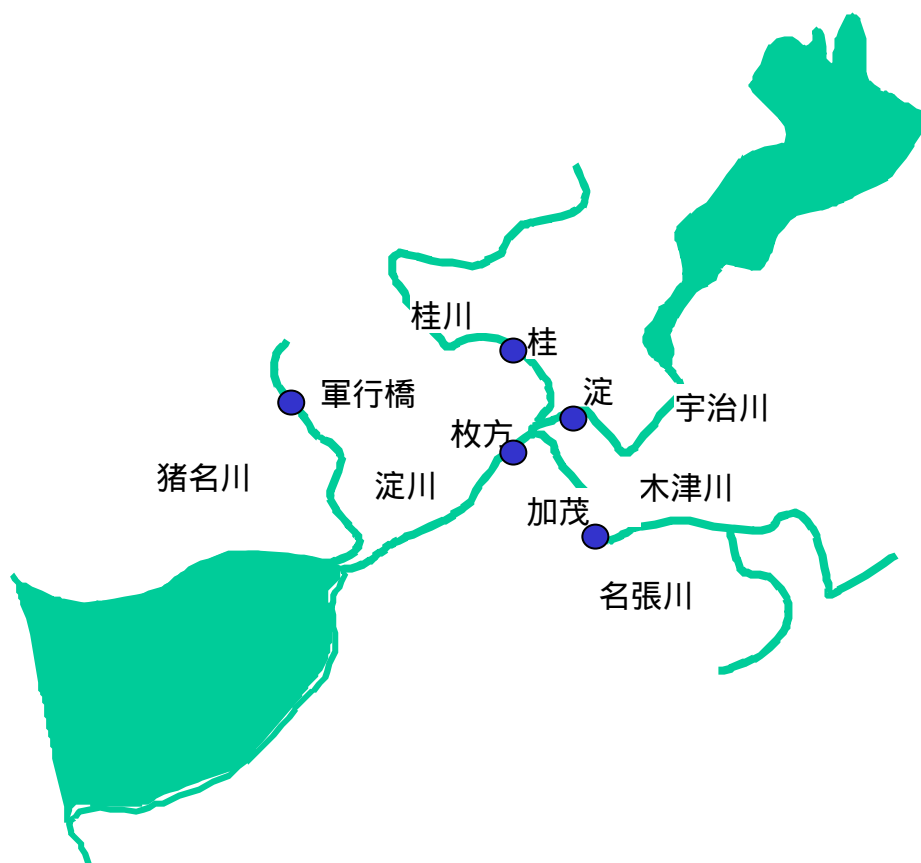


年降水量等高線図

出典：近畿地方建設局「淀川百年史」

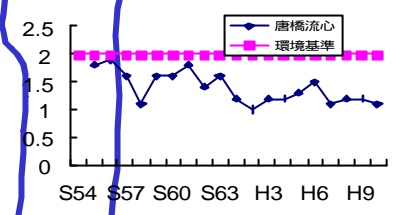
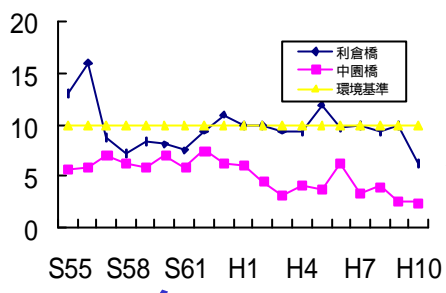
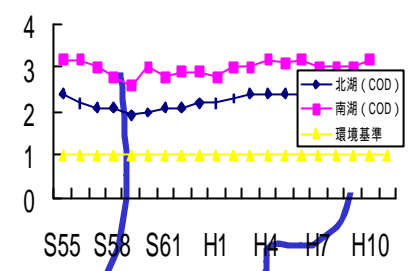
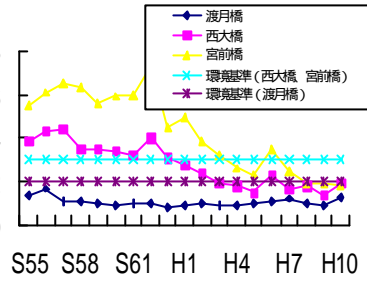
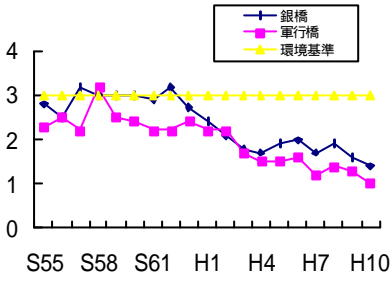


# 各河川の流況

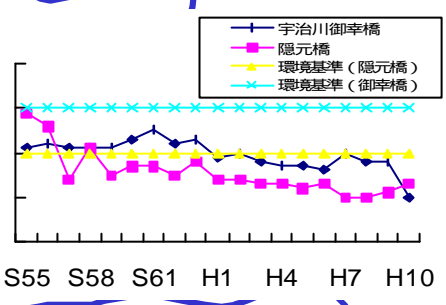
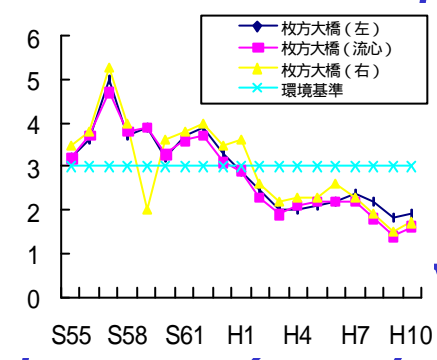


河川名	地点	流 量 (m <sup>3</sup> /s)							年総量 (10 <sup>6</sup> m <sup>3</sup> )
	観測年	最大	豊水	平水	低水	渇水	最小	年平均	
桂川	桂 S30~H10	2,079.80	26.69	14.80	9.35	4.72	0.00	26.88	848.15 8億m <sup>3</sup>
宇治川	淀 S30~H9	1,979.52	194.41	137.94	102.93	78.23	33.00	177.53	5,602.27 56億m <sup>3</sup>
木津川	加茂 S33~H9	6,200.00	41.50	25.58	17.95	10.74	1.42	45.50	1,435.66 14億m <sup>3</sup>
淀川	枚方 S27~H9	7,970.00	284.61	195.97	148.79	107.23	42.54	273.17	8,620.48 86億m <sup>3</sup>
猪名川	軍行橋 S29~H9	1,568.62	7.48	3.71	2.05	0.86	0.00	8.87	279.83 3億m <sup>3</sup>

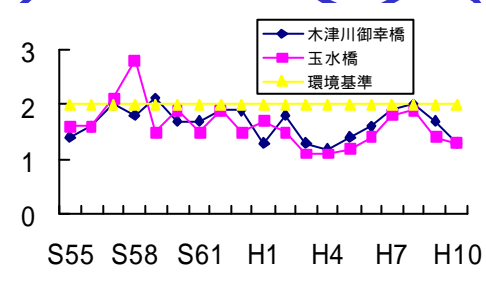
# 琵琶湖



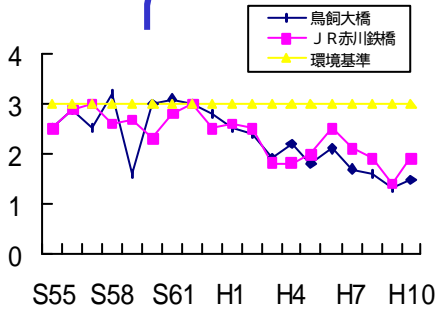
# 猪名川



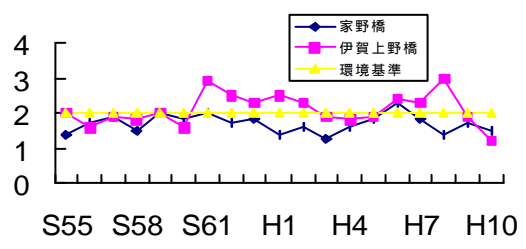
# 木津川



# 大阪湾



# 名張川



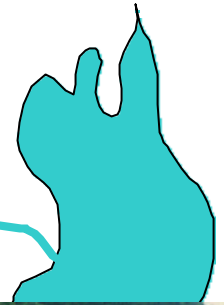
# 水質 (BOD) の経年変化



嵐山



保津峡



三川合流



鹿跳溪谷

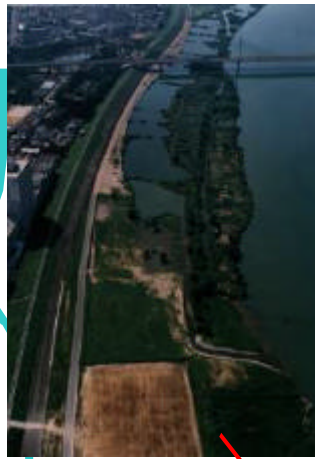
猪名川

桂川

宇治川

大戸川

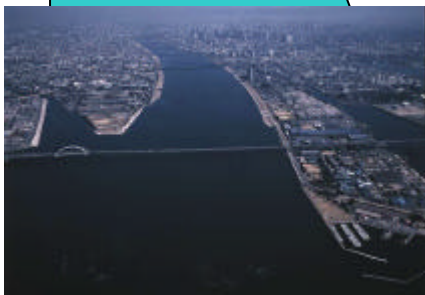
ワンド



木津川

淀川

河口部



鵜殿の葎原



岩倉峡

# 流域の主な景観・環境



写真 ホンモロコ



写真 ニゴロブナ



写真 ゲンゴロウブナ



写真 ビワマス



写真 イタセンパラ



写真 オオヨシキリ



写真 カイツブリ(滋賀県の鳥)



写真 コハクチョウ



写真 カルガモ



図 コアジサシ



図 ユリカモメ



図 カワウ

## 流域に生息する主な生物

## 淀川における近年の大出水

発生年月日	気象原因	最大流量(枚方) ( $m^3/s$ )
昭和28年9月25日	台風13号	7,800.00
昭和31年9月27日	台風15号	5,025.00
昭和33年8月26日	台風17号	3,990.00
昭和34年8月14日	前線及び台風	7,560.00
昭和34年9月27日	台風15号 (伊勢湾台風)	7,970.00
昭和35年8月30日	台風16号	3,775.00
昭和36年10月28日	台風26号	7,205.80
昭和40年9月18日	台風24号	6,868.20
昭和47年9月17日	台風20号	5,288.44
昭和57年8月2日	台風10号	6,270.67
平成1年9月3日	台風12号	3,599.15
平成2年9月20日	台風19号	3,949.44
平成6年9月30日	台風26号	2,753.42



大正 6 年大冠村大塚 ( 現高槻市 ) の堤防決壊破堤



昭和 28 年 13 号台風による京都府久御山町付近の浸水



昭和 35年猪名川の出水  
による豊中市の浸水



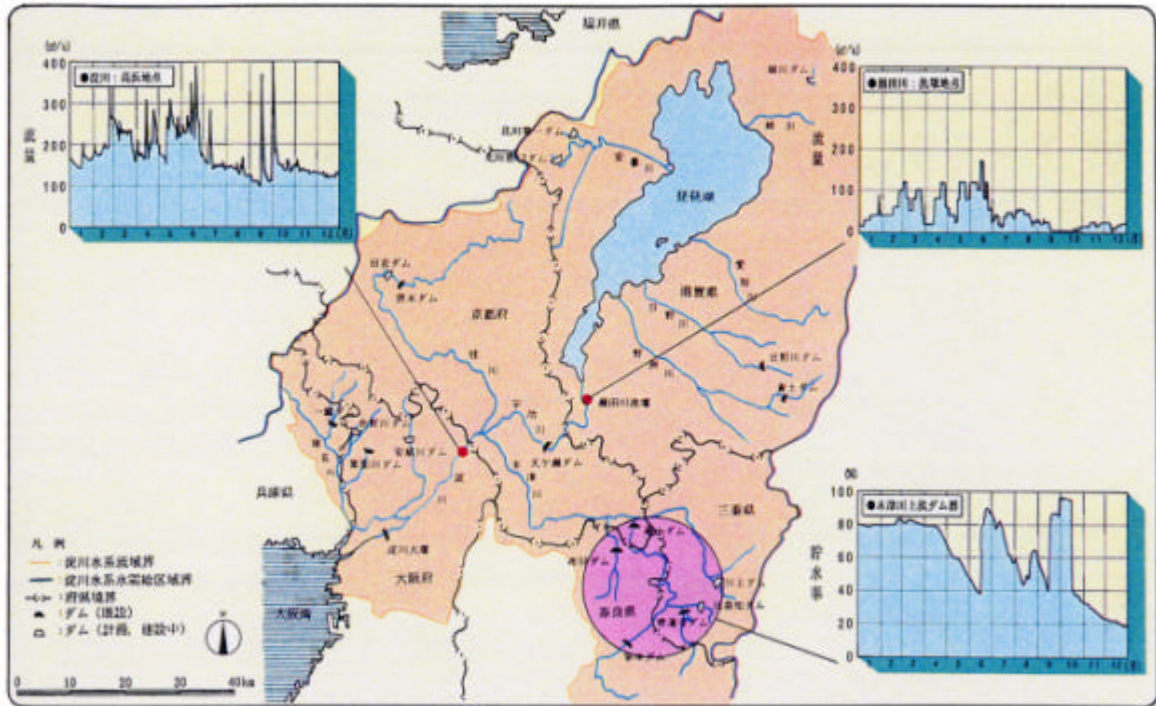
昭和 47年桂川の出水による  
亀岡市の浸水



昭和 36年第二室戸台風による大阪市此花区伝法  
附近の状況

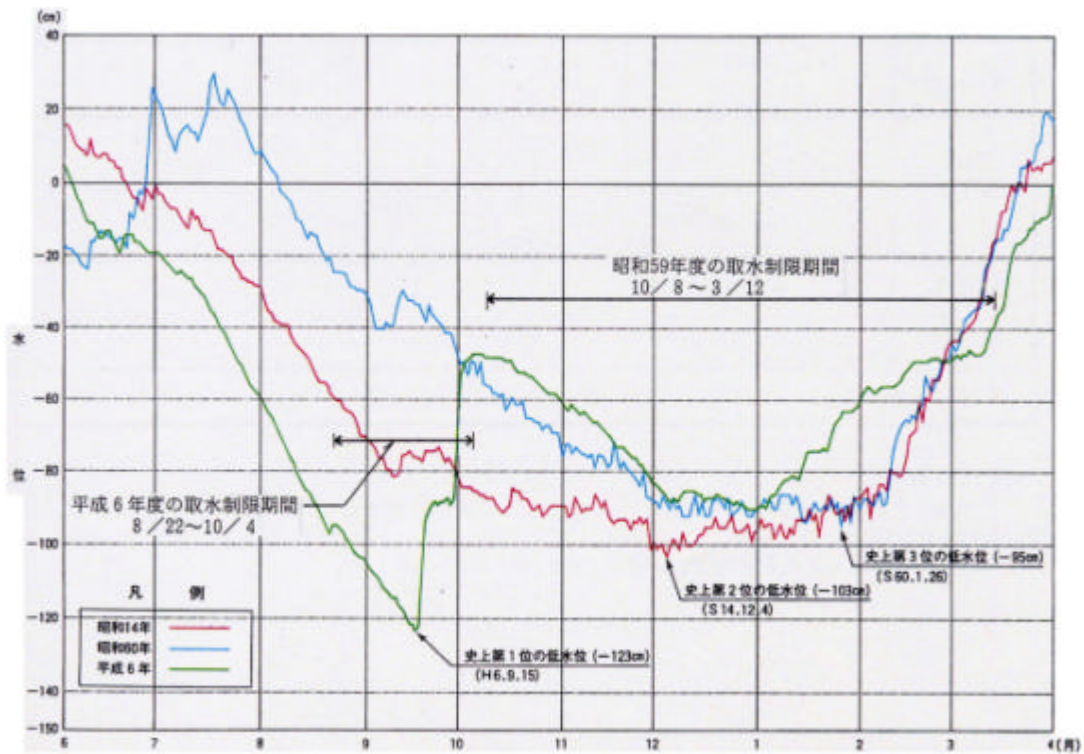
# 近年の渇水

## ◆平成6年渇水時の主要地点の流況と上流ダム群の貯水率



出典) 平成6年渇水と水環境, 平成7年2月, 建設省近畿地方建設局

## ◆著名渇水時における琵琶湖水位

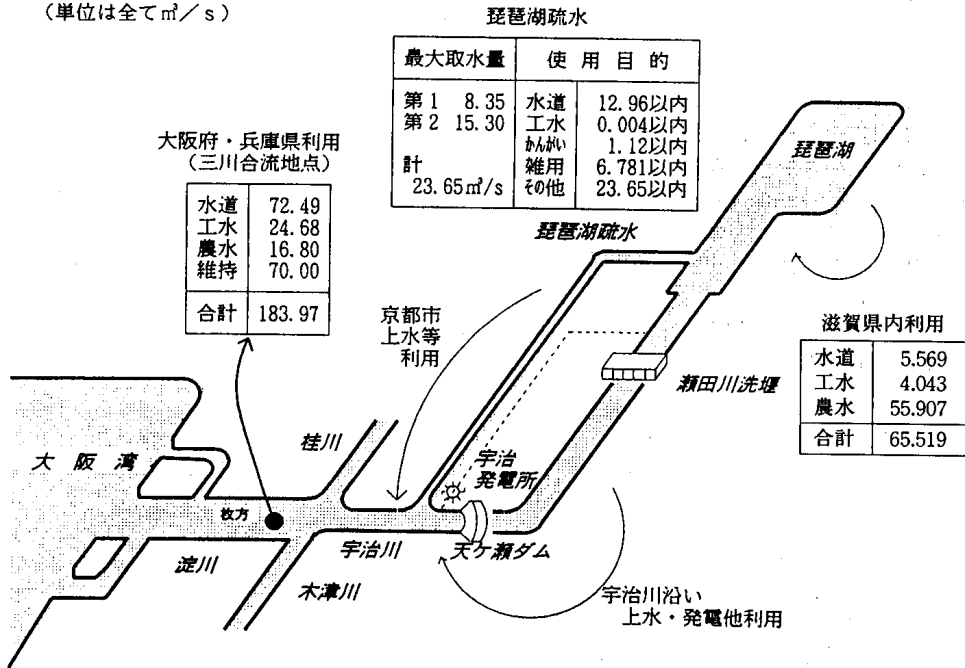


出典) 平成6年渇水 琵琶湖・淀川水環境総合調査報告書  
平成8年3月, 財) 琵琶湖・淀川水質保全機構を改変



# 河川の利用

(単位は全て  $m^3/s$ )



## 淀川水系の水利用

大阪府「明日の水資源を考える'98」  
 近畿地方建設局・水資源開発公団編「淡海よ永遠に」より作成



## 淀川河川公園の利用

## 淀川流域で現在実施している主な事業

1. 淀川堤防耐震対策事業
2. 淀川高規格堤防整備事業
3. 隠元地区引堤事業
4. 車田地区引堤事業
5. 塔の島地区改修事業
6. 大下津地区引堤事業
7. 木津川漏水対策事業
8. 大津放水路建設事業
9. 草津川放水路建設事業
10. 天ヶ瀬ダム再開発事業
11. 大戸川ダム建設事業
12. 上野遊水地事業
13. 川西・池田地区改修事業
14. 猪名川総合開発事業

凡例

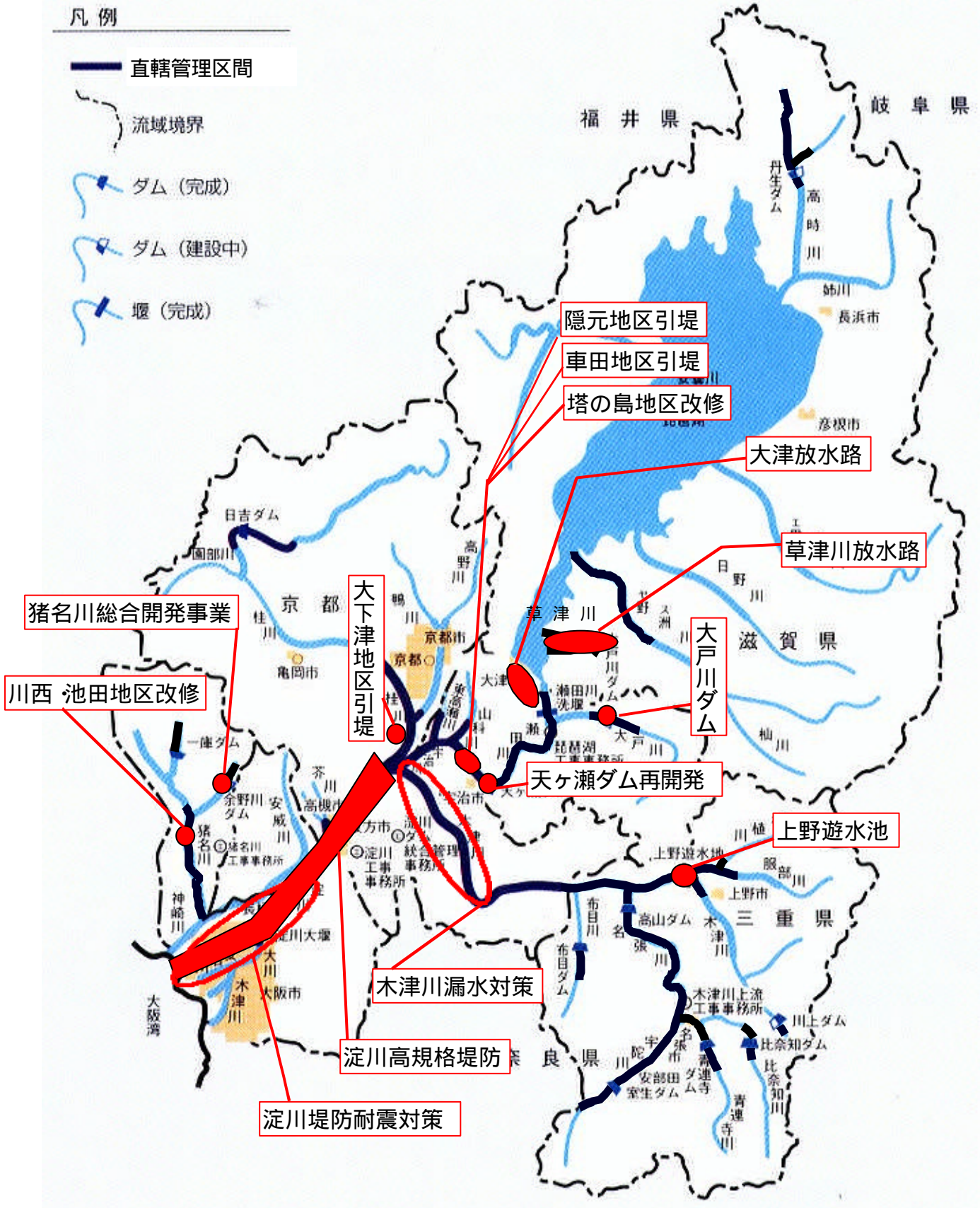
直轄管理区間

流域境界

ダム (完成)

ダム (建設中)

堰 (完成)



河川名	淀川
-----	----

事業名	淀川堤防耐震対策事業
-----	------------

事業区間 河口～鳥飼大橋までの緊急的に対策をする必要がある区間  
L = 8.6 km

事業内容 堤防耐震補強（鋼矢板打設、地盤改良）  
事業経過 工事実施 H7～（H13概成予定）

#### 事業の概要

淀川は阪神淡路大震災により19箇所の堤防が沈下、崩壊、法崩れ、亀裂等の被災を受けており、これを機に堤防の耐震対策を実施しています。

対策は堤防基礎地盤の液状化現象によるすべり破壊を防ぐことを目的として、抑止工として堤外側は地盤改良、民家の近接する堤内側は鋼矢板打設により対処しています。



阪神大震災による被災

河川名	淀川
-----	----

事業名	淀川高規格堤防整備事業
-----	-------------

事業区間 木津川・桂川との合流点から河口まで（大阪府域）  
延長 89 Km

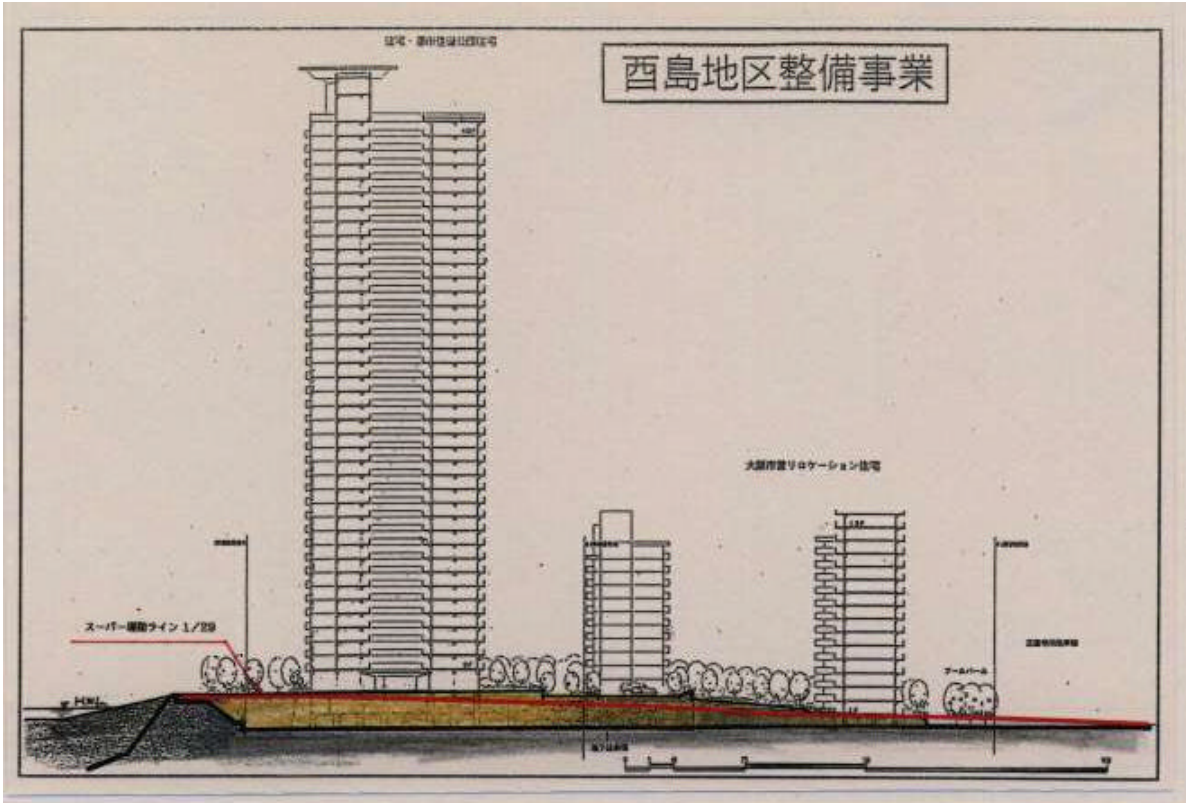
事業内容 高規格堤防の整備  
（計画高水流量を超える流量の洪水の作用に対して耐えることができる規格構造を有する堤防）

事業経過 事業採択年 昭和62年度  
工事着手年 昭和63年  
進捗状況 約7%（平成11年度末）

事業の概要  
計画規模を上回る洪水により破堤した場合の甚大な被害を避けるための対策として高規格堤防の整備を実施しています。



# 西島地区高規格堤防整備事業



河川名	宇治川
-----	-----

事業名	隠元地区引堤事業
-----	----------

事業区間	宇治川右岸	47.0k ~ 48.4k
事業内容	引堤	L = 1.4km
	橋梁架替	1橋
	樋門改築	2基
事業経過	事業説明	S55
	用地買収	S55 ~
	築堤工事	S60 ~
	橋梁架替	H11 ~
	樋門改築	H8 ~

#### 事業の概要

宇治川における流下能力を確保するため河積拡大として最大幅約50mの引堤を行うものです。

当該地区においては隠元橋から上流の区間について築堤が概成しており、隠元橋下流については、現在残る1件の用地交渉を継続し、一部区間の築堤工事に着手しています。

また、隠元橋については、京都府の道路事業と合併して事業実施中です。



河川名	宇治川
-----	-----

事業名	車田地区引堤事業
-----	----------

事業区間	宇治川右岸	49.2k ~ 50.0k
事業内容	引堤	L = 0.8km
事業経過	事業説明	S58
	用地買収	S55 ~
	築堤工事	S59 ~

#### 事業の概要

宇治川における流下能力を確保するため河積拡大として最大幅約20mの引堤を行うものです。

当該地区は戦川を挟んだ上下流それぞれ400mの区間を対象とするが、戦川上流については、既に引堤が完了しています。

戦川下流については、一部の用地を取得していますが、事業説明、用地交渉を継続している状況です。





河川名	宇治川
-----	-----

事業名	塔の島地区改修事業
-----	-----------

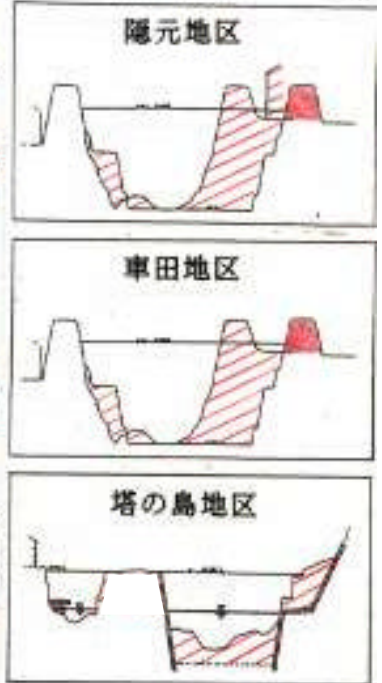
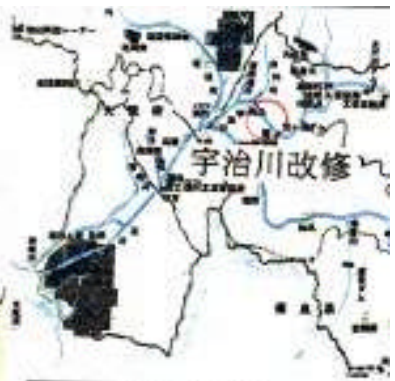
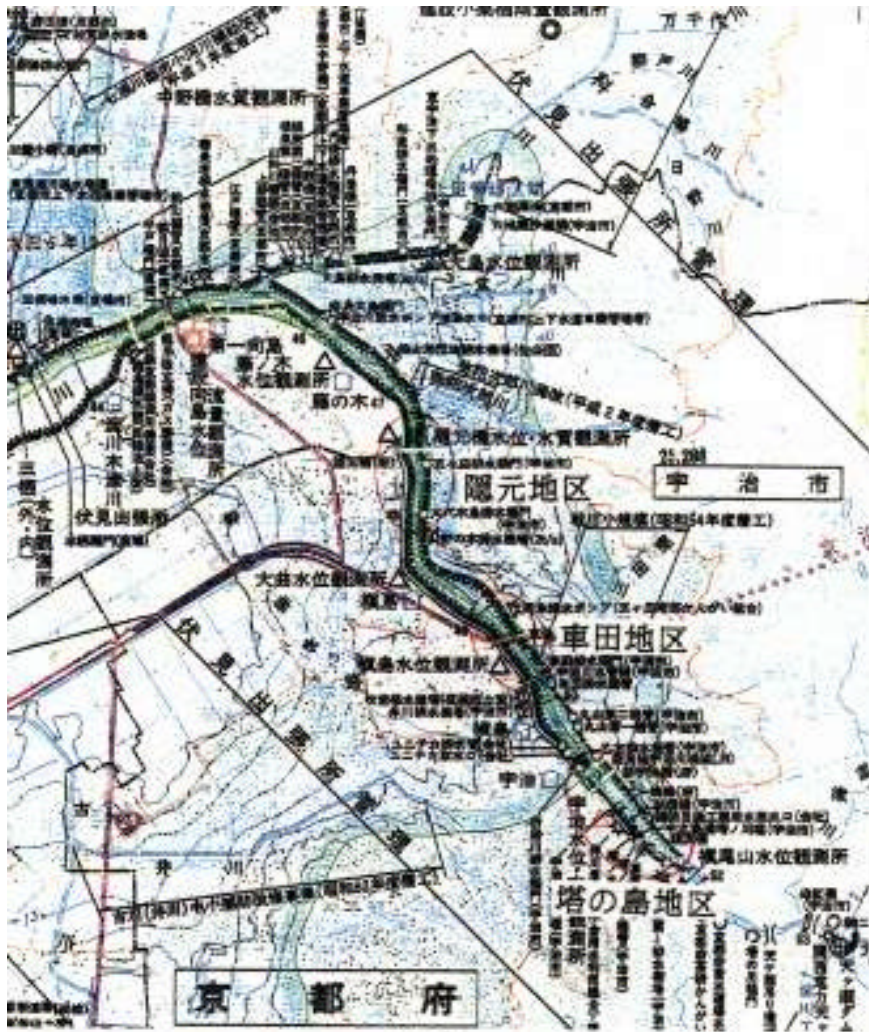
事業区間 50.6k ~ 51.8k L = 1.2km  
事業内容 河床掘削  
護岸整備  
橋梁対策  
事業経過 景観保全に関する協議会 S52  
宇治川改修計画に対する意見書(宇治市) S53  
工事着手 S56

#### 事業の概要

宇治川の最上流部である当該箇所において流下能力を確保するため河積拡大として河床掘削を行うものです。

当該地区は風致地区であり、周辺には平等院が立地し、また平安時代から行われている鵜飼等の歴史的資産が多く残されていることから、河川改修においてもこれらの歴史的風土に配慮して実施しているところです。





河川名	桂川
-----	----

事業名	大下津地区引堤事業
-----	-----------

引堤区間	桂川右岸	1.6 ~ 4.0 k	L = 2.4 km
事業内容	引堤最大幅	100 m	(川幅を370 mに拡大)
	移転家屋数	約140戸	
事業経緯	事業説明	S54	
	用地買収	H2 ~	
	築堤工事	H5 ~	
	代替地造成	H7 ~	

#### 事業の概要

大下津地区は淀川（宇治川）、桂川、木津川の三川合流点の直上流右岸（1.6 k ~ 4.0 k）に位置する地区である。

当該区間の流下能力を確保するため、平均川幅を約370 m確保することとして約2.4 kmに及ぶ引堤を実施している。



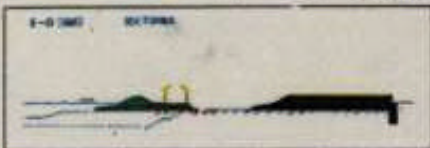
# 桂川大下津引堤事業 計画平面図

(従大下津町地先 築堤-移転地造成平面図)



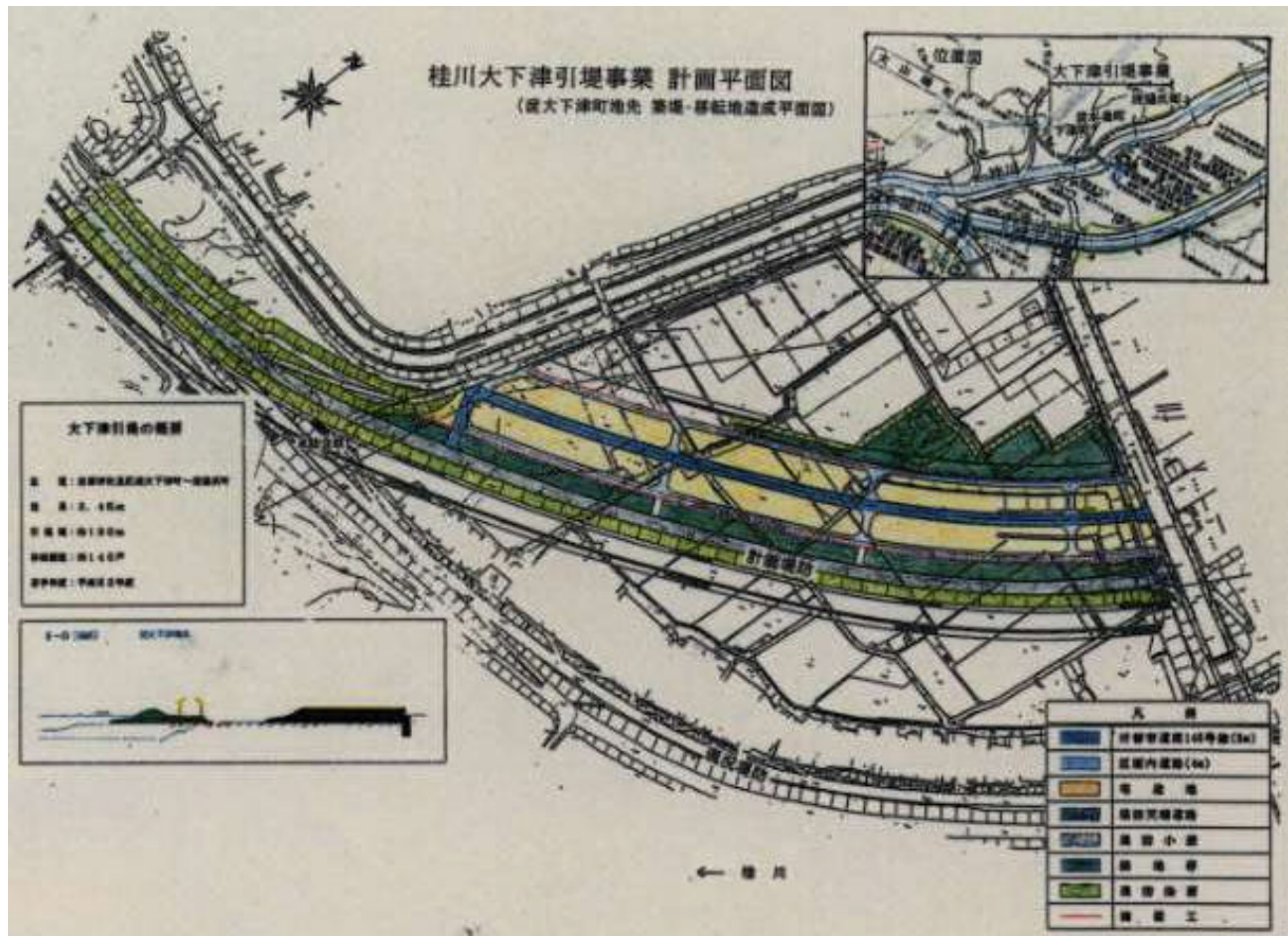
**大下津引堤の概要**

全 長：全長約1.5km(大下津町一宮地区内)  
 幅 員：2.5m  
 延長：約1.5km  
 計画年度：昭和三十八年  
 設計者：中野建設事務所



凡 例	
	河川管理区100号線(3m)
	区域内地路(3m)
	等 差 地
	橋脚河床敷地
	堤内小道
	築 堤 部
	築堤敷地
	築 堤 工

← 橋 脚



河川名	木津川
-----	-----

事業名	木津川漏水対策事業
-----	-----------

事業区間 漏水実績のある区間、及び旧川跡・破堤実績のある区間  
L = 30.8 km

事業内容 遮水護岸工、鋼矢板打設

事業経過 工事実施 S53～

#### 事業の概要

木津川の堤防は河床材による築立であり、また堤防基礎地盤が河床と同様の材料であるため、洪水時において堤内側への漏水により噴砂等が生じています。

堤防の漏水は破堤につながることから、S52の堤防総点検以来、堤体及び基礎地盤の漏水対策として遮水護岸工、鋼矢板打設等の整備（約3.3km）を実施しています。



河川名	三田川他
-----	------

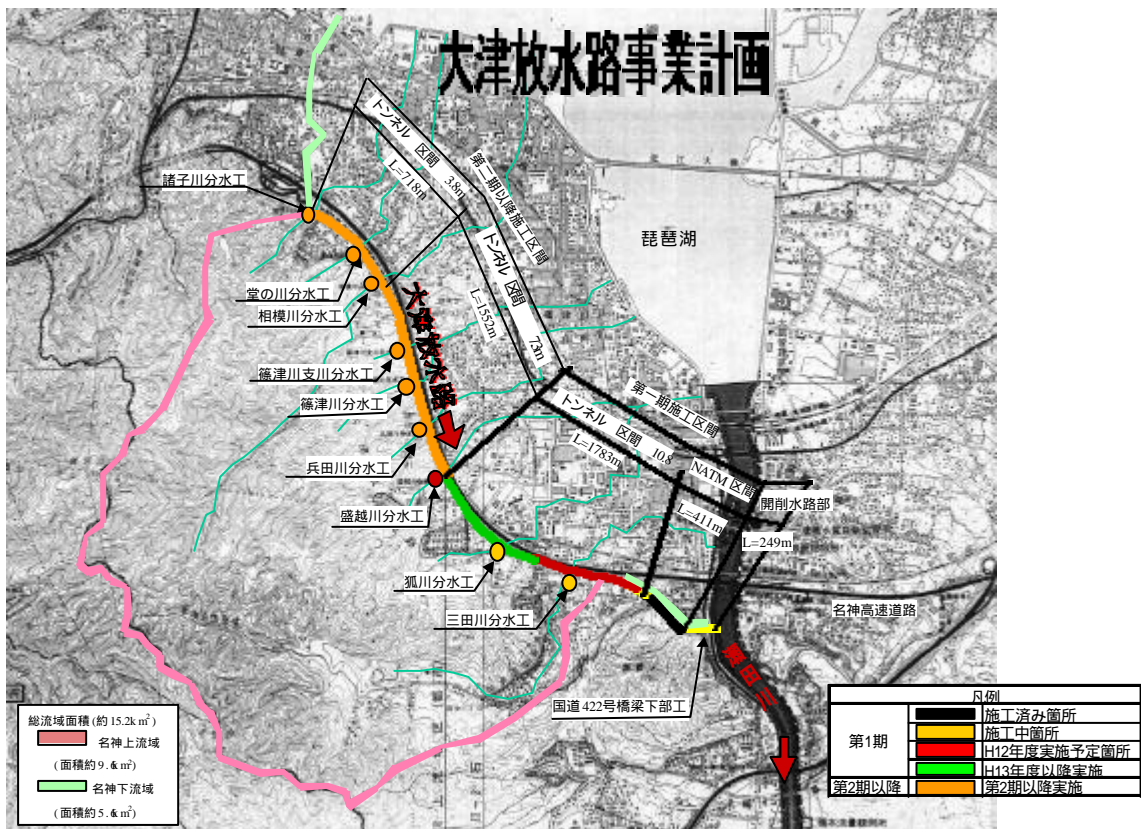
事業名	大津放水路建設事業
-----	-----------

工事区間 大津市石山寺一丁目～大津市鶴の里 L = 4,713 m  
 事業内容 開削水路部 L = 249 m  
 NATM区間 L = 411 m  
 トンネル区間 L = 1,783 m (内径 10.8 m)  
 トンネル区間 L = 1,552 m (内径 7.3 m)  
 トンネル区間 L = 718 m (内径 3.8 m)

事業経緯 用地買収 平成 4年～  
 都市計画決定(当初) 平成 6年  
 工事着手 平成 6年～  
 都市計画決定(変更) 平成 11年

事業の概要

大津市街地を流れる三田川他 8 河川は、集中豪雨に見舞われると浸水被害を起こしてきた。しかし、これらの河川は、河積が小さく流路が屈曲しており、沿川に住宅が密集しているため改修を行うことが困難である。そこで、比較的開発の進んでいない上流域の名神高速道路南沿いにおいて放水路トンネルを建設し、下流域の洪水軽減をはかることを目的として事業を実施しています。



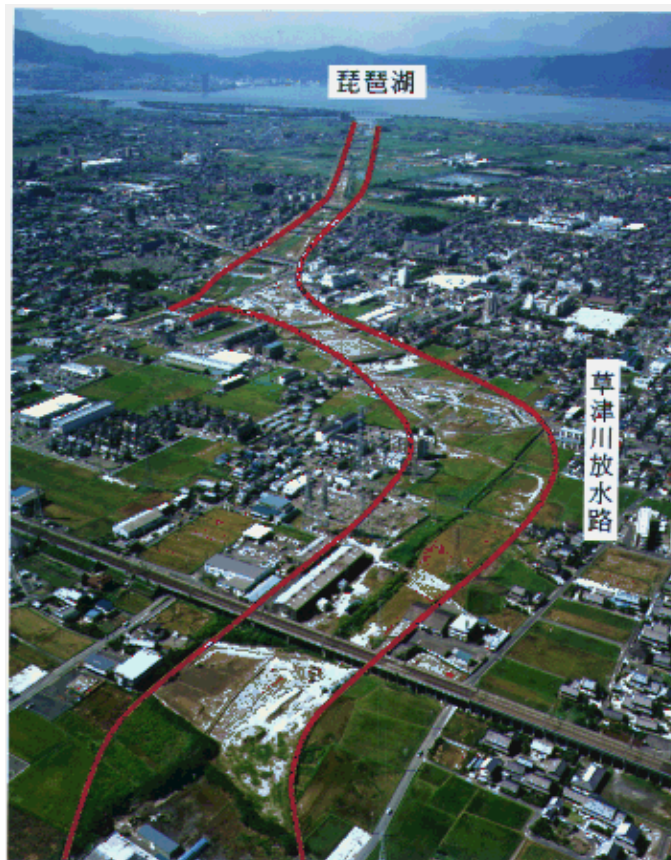
河川名	草津川
-----	-----

事業名	草津川放水路建設事業
-----	------------

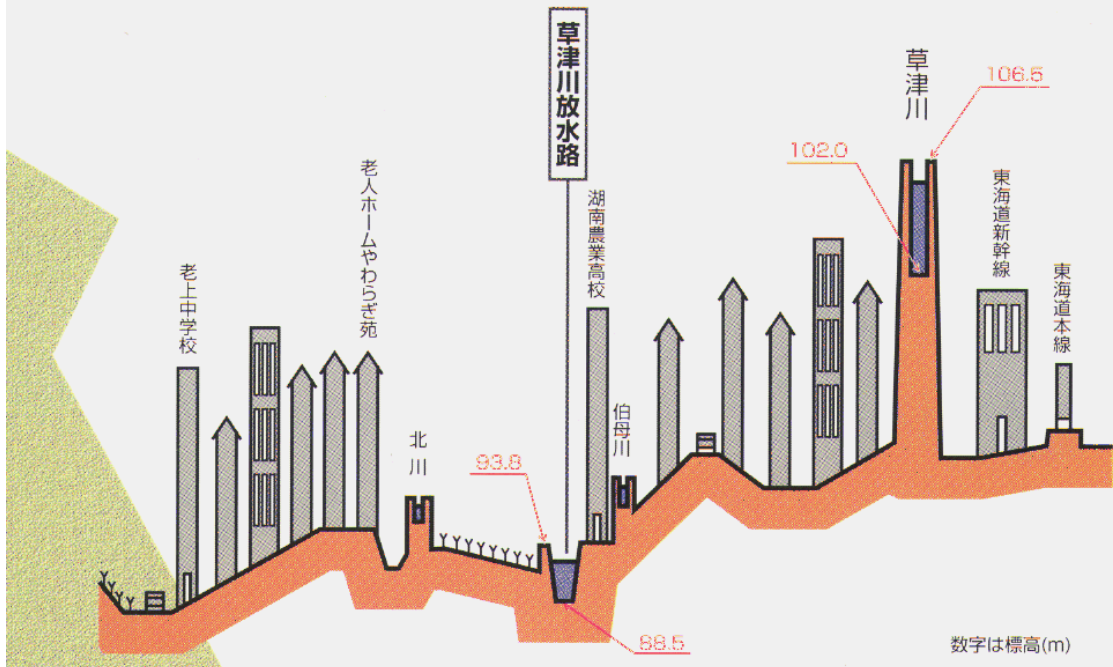
工事区間 草津市矢橋町～青地町 L = 5.5 km  
事業内容 掘削 約 1,200 千m<sup>3</sup>  
護岸 11,000 m  
落差工 5 基  
橋梁 19 橋  
事業経緯 用地買収 昭和 52 年～  
工事着手 昭和 57 年～  
草津川の直轄編入・  
草津川放水路の直轄施工 平成 4 年～

事業の概要

天井川である現在の草津川は市街地の地盤から平均して5～6mも高く、洪水による氾濫は広範囲に大きな被害をもたらしてきました。また慢性的に内水による浸水被害を受けています。このため新たに放水路を建設し、河川の平地化を行うことにより、沿川の治水安全度を飛躍的に向上させます。平成13年度を通水目標にして事業を実施しています



## 草津川の地形



## 写真で見る草津川

■ 草津川の川底を東海道本線が横断しています



■ 川底よりも低い場所に民家があることがわかります



河川名	宇治川
-----	-----

事業名	天ヶ瀬ダム再開発事業
-----	------------

施工位置 淀川水系宇治川  
右岸：京都府宇治市槇島町槇尾山  
左岸：京都府宇治市槇島町六石山

事業内容 トンネル式放流設備 延長 約 600 m  
導流部直径 11.3 m  
主ゲート 2門

事業費 330億円

事業経緯 建設着手 H元年度  
工事用道路着手 H9年度  
補償工事着手 H12年度

#### 事業の概要

天ヶ瀬ダム再開発事業は、より効率的な貯水池運用を図ることにより、洪水調節計画の変更、新規水道用水の供給、揚水発電の増強を目的として、淀川水系宇治川の京都府宇治市槇島町六石山・槇尾山地先に建設された天ヶ瀬ダムの放流設備の増設(既設天ヶ瀬ダムの左岸部に新たにトンネル式放流設備を増設する。)を行うものです。



河川名	大戸川
-----	-----

事業名	大戸川ダム建設事業
-----	-----------

位置	淀川水系大戸川	
	右岸：滋賀県大津市上田上桐生町	
	左岸：滋賀県大津市上田上牧町	
型式	重力式コンクリートダム	
集水面積	153.5 km <sup>2</sup>	
事業費	740億円	
事業経緯	建設事業着手	H元年度
	基本計画告示	H3年3月
	補償基準受結	H6年10月
	代替地移転完了	H10年3月
	付替県道起工式	H11年6月

#### 事業の概要

大戸川ダムは、洪水調節、水道用水の確保、河川環境保全のための流量確保、発電を目的として滋賀県大津市上田上牧町及び上田上桐生町の淀川水系大戸川に建設する多目的ダムである。



河川名	木津川上流
-----	-------

事業名	上野遊水地事業
-----	---------

事業区間	三重県上野市	木津川距離標 57.4 km 付近 ~ 61.4 km 付近
事業内容	4 遊水地約 250 ha	湛水容量 900 万 m <sup>3</sup>
事業経緯	工事着手	S 45 ~

### 事業の概要

上野遊水地計画は、従来より上野盆地に常習的な湛水被害をおよぼしている湛水域 540 ha（戦後最大湛水域）のうち、約 250 ha の区域を計画遊水地として大出水時に一時的に洪水を湛水させ流量調節機能を残しつつ、上野市周辺の治水対策を図ることを目的として事業を実施しています。



## 事業名 川西・池田地区改修事業

改修区間	猪名川	10.4 ~ 12.6 k	L = 2.4 km
事業内容	引き堤	2.4 km (現況河幅70m, 計画河幅90m)	
	橋梁架替	4橋	
	井堰改築	2井堰	
	低水護岸	2,800m	
	河道掘削	190千m <sup>3</sup>	
事業経緯	事業着手	S53年~	

## 事業の概要

猪名川は都市及び都市周辺地域の開発の進行に伴う人口の集中、洪水時の河川への流出量の増大等により、治水安全度の低下が著しく、昭和53年度に「総合治水対策特定河川」に指定され、川西池田地区改修の重点整備を図っています。

川西池田地区は現況河幅が70m程度と狭く疎通能力が不足しており、計画河幅90m確保することとして引堤事業を実施しています。



河川名

猪名川

事業名

猪名川総合開発(余野川ダム)事業

【事業の内容】

位置： 大阪府箕面市下止々呂美地先

型式： 重力式コンクリートダム

集水面積： 27.8Km<sup>2</sup>(直接：5.0km<sup>2</sup>間接22.8km<sup>2</sup>)

全体事業費： 500億

【事業の経過】

- ・昭和55年 4月 「猪名川水利用高度化事業」として実施計画調査開始
- ・昭和57年 8月 「淀川水系における水資源開発基本計画(全部変更)」に高度化事業位置づけ
- ・昭和58年 4月 猪名川総合開発建設事業に着手
- ・平成 3年 8月 多目的ダム法に基づく建設に関する基本計画の告示
- ・平成 4年 1月 基本計画の告示(変更)
- ・平成 4年 8月 「淀川水系における水資源開発基本計画(全部変更)」に猪名川総合開発事業位置づけ
- ・平成 5年 3月 工事用道路工事に着手
- ・平成 7年10月 用地損失補償基準の受結・調印

【事業の概要】

猪名川総合開発事業は、洪水調節、流水の正常な機能維持及び、水道用水の供給を行うことを目的として、淀川水系猪名川左支川余野川の右支川北山川(箕面市下止々呂美地先)に多目的ダムとして建設される余野川ダム及び、猪名川下流に設ける河川浄化施設を主要施設とします。

余野川ダムは導水施設を伴う間接貯留方式の重力式コンクリートダムで高さ79mです。

